

北海道 三笠市

●三笠市の概要

明治39年 市来知・幌内・幾春別の三村合併、三笠山村とした。
 昭和17年 三笠町が誕生。
 昭和32年 三笠市(北海道内で22番目の市)となる。



年別		人口(人)		世帯数	
年別	総数	男	女	世帯数 (戸)	
昭和30年	57,519	29,451	28,068	11,108	
昭和35年	56,196	27,943	28,253	12,100	
昭和40年	48,184	23,742	24,442	11,858	
昭和45年	40,553	19,818	20,735	11,393	
昭和50年	25,749	12,328	13,421	8,271	
昭和55年	23,319	11,280	12,039	8,205	
昭和60年	21,511	10,349	11,162	7,941	
平成2年	17,049	7,893	9,156	6,628	
平成7年	15,116	6,985	8,131	6,266	
平成12年	13,561	6,212	7,349	5,887	
平成17年	11,927	5,418	6,509	5,422	

出典)国勢調査

●常住人口・就業者・通学者数
【平成17年度】

年別		常住地による人口		従業地・通学地による人口	
	当市町村	他県・他市町村で従業・通学	当市町村	他県・他市町村に常住	当市町村に常住
総数	4,799	3,244	1,555	5,138	3,244
15歳以上就業者	4,416	3,117	1,299	4,969	3,117
15歳以上通学者	383	127	256	169	127
					42

●常住人口・就業者・通学者数
【平成12年度】

年別		常住地による人口		従業地・通学地による人口	
	当市町村	他県・他市町村で従業・通学	当市町村	他県・他市町村に常住	当市町村に常住
総数	5,603	3,957	1,646	5,526	3,957
15歳以上就業者	5,133	3,795	1,338	5,269	3,795
15歳以上通学者	470	162	308	257	162
					95

出典)国勢調査

年別 (平成)	自然動態			社会動態		人口増減 (人)
	出生 (人)	死亡 (人)	増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	
13	61	264	▲ 203	336	502	▲ 405
14	44	224	▲ 180	363	505	▲ 319
15	48	214	▲ 166	327	491	▲ 335
16	53	212	▲ 159	341	479	▲ 138
17	47	217	▲ 170	347	477	▲ 302
18	60	222	▲ 162	363	507	▲ 144

出典)三笠市統計(平成)

●年表[北海道三笠市]

西暦	明治	大正	昭和	平成																	
年号	21	2	4	6	23	26	27	32	36	42	45	46	47	48	50	52	57	58	62	89	
人口					56,196人	48,841人	40,553人	25,749人	23,319人	21,511人	17,049人										
世帯数					12,100戸	11,858戸	11,333戸	8,271戸	8,205戸	7,941戸	6,028戸										
高齢化率					9.2%	10.5%	12.6%	14.8%	17.8%	20.0%	22.9%										
教育・文化					新幌内鑑開館	新別小学校開校	桂沢ダム完成	桂沢小中学校廢校	弥生中学校開校	桂別質鑑開山											
三笠市																					
道路・交通																					
三笠市																					
教育・文化																					
三笠市																					
出典) 東京三笠会 三笠市の歴史																					

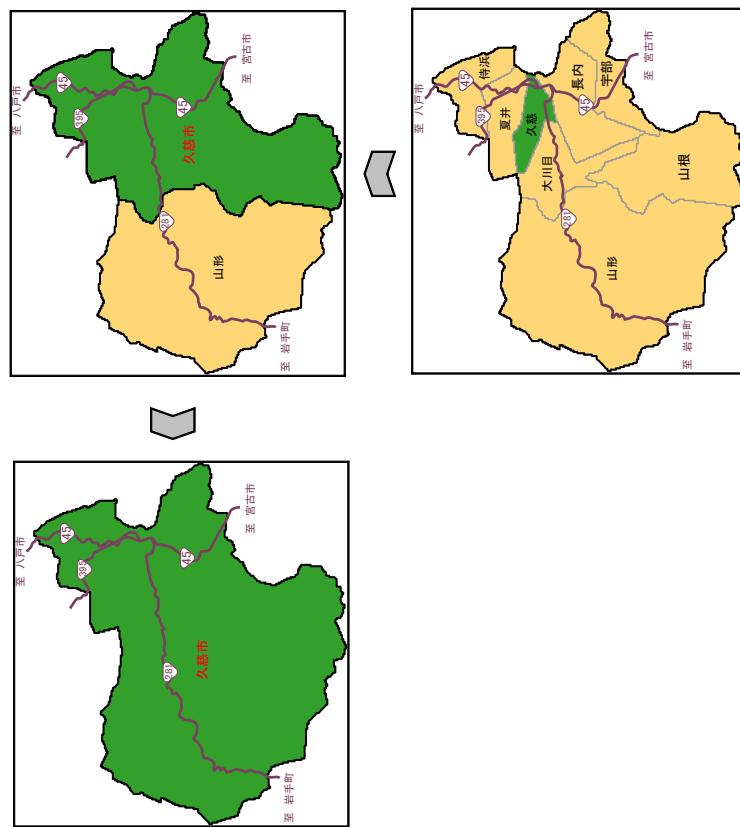
●人口・世帯数			
久慈市			
年別	人口(人)		世帯数 (戸)
昭和30年	43,063	20,443	22,620
昭和35年	45,025	21,465	23,560
昭和40年	44,946	21,809	23,137
昭和45年	43,044	20,739	22,305
昭和50年	43,195	20,919	22,276
昭和55年	43,683	21,241	22,442
昭和60年	43,402	20,941	22,461
平成2年	42,758	20,507	22,251
平成7年	41,225	19,435	21,790
平成12年	40,178	18,965	21,213
平成17年	39,141	18,381	20,760
			14,262

出典:国勢調査

岩手県 久慈市

●久慈市の概要

昭和29年11月3日 久慈町・長内町・宇部町・山根村・大川町・夏井村・侍浜村が合併し、久慈市となる。
平成18年3月6日、旧久慈市と旧山形村の合併により誕生。



●人口・世帯数(構成)

《旧市町村》

年別	旧久慈市			旧山形村		
	人口(人)		世帯数 (戸)	人口(人)		世帯数 (戸)
	総数	男	女	総数	男	女
昭和30年	35,882	16,906	18,976	6,490	7,181	3,537
昭和35年	37,714	17,835	19,879	7,397	7,311	3,630
昭和40年	38,374	18,577	19,797	8,259	6,572	3,232
昭和45年	37,533	18,101	19,432	8,899	5,511	2,638
昭和50年	38,122	18,439	19,683	9,907	5,073	2,480
昭和55年	39,013	18,871	20,142	11,073	4,670	2,370
昭和60年	39,136	18,833	20,303	11,538	4,266	2,108
平成2年	38,743	18,554	20,189	12,022	4,015	1,953
平成7年	37,524	17,643	19,881	12,426	3,701	1,792
平成12年	36,796	17,311	19,485	12,985	3,382	1,654
平成17年	36,009	16,881	19,128	13,206	3,132	1,500

出典:国勢調査

●人口・世帯数

【平成11年度】

	久慈市		
	常住地による人口	従業地・通学地による人口	
総数	19,687	17,773	1,914
15歳以上就業者	17,962	16,313	1,649
通学者	1,725	1,460	265

出典:国勢調査

●沿革

原始の姿を今に残し、冬季には見事な氷柱を創りだす「内間木洞」、鍛錬文化を中心とした山里の暮らしを受け継がれ伝統を誇る「小久慈焼き」、8千年の歴史を有する「琥珀」などが立地している。
また「市ど雀事のまち」でもあり、「3・8」のつく日は「市日」といわれ、300年以上の歴史を持つ「市」が街中に立つ。630年の伝統を誇り、久慈地域最大の祭りである「久慈秋祭り」をはじめ、それの地域に根ざした催事も活発に行なわれている。

●人口動態

●常住人口就業者・通学者数(焼き)

久慈市					
自然動態					
年別 (平成)	出生 (人)	死亡 (人)	増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)
13	408	349	59	1,409	1,537 ▲ 128 ▲ 69
14	358	383	▲ 25	1,273	1,460 ▲ 187 ▲ 212
15	352	382	▲ 30	1,388	1,548 ▲ 160 ▲ 190
16	343	387	▲ 44	1,192	1,537 ▲ 345 ▲ 389
17	332	382	▲ 50	1,096	1,537 ▲ 441 ▲ 491

出典)久慈市統計書H17-H18

久慈市					
社会動態					
年別 (平成)	出生 (人)	死亡 (人)	増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)
13	408	349	59	1,409	1,537 ▲ 128 ▲ 69
14	358	383	▲ 25	1,273	1,460 ▲ 187 ▲ 212
15	352	382	▲ 30	1,388	1,548 ▲ 160 ▲ 190
16	343	387	▲ 44	1,192	1,537 ▲ 345 ▲ 389
17	332	382	▲ 50	1,096	1,537 ▲ 441 ▲ 491

出典)久慈市統計書H17-H18

●常住人口就業者・通学者数(焼き)

●常住人口就業者・通学者数(焼き)

久慈市					
社会動態					
年別 (平成)	出生 (人)	死亡 (人)	増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)
13	408	349	59	1,409	1,537 ▲ 128 ▲ 69
14	358	383	▲ 25	1,273	1,460 ▲ 187 ▲ 212
15	352	382	▲ 30	1,388	1,548 ▲ 160 ▲ 190
16	343	387	▲ 44	1,192	1,537 ▲ 345 ▲ 389
17	332	382	▲ 50	1,096	1,537 ▲ 441 ▲ 491

出典)久慈市統計書H17-H18

旧山形村					
社会動態					
年別 (平成)	出生 (人)	死亡 (人)	増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)
13	21	52	▲ 31	93	124 ▲ 31 ▲ 62
14	22	43	▲ 21	62	96 ▲ 34 ▲ 55
15	24	45	▲ 21	85	115 ▲ 30 ▲ 51
16	17	46	▲ 29	86	97 ▲ 11 ▲ 40
17	28	46	▲ 18	64	81 ▲ 17 ▲ 35

出典)久慈市統計書H17-H18

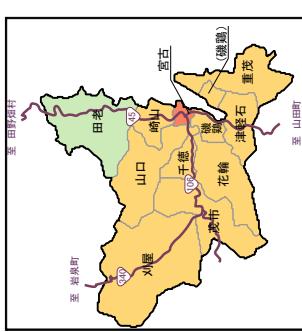
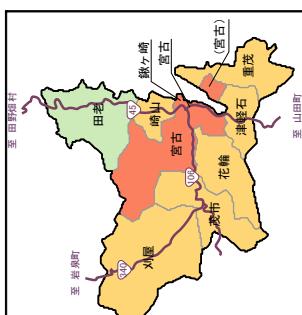
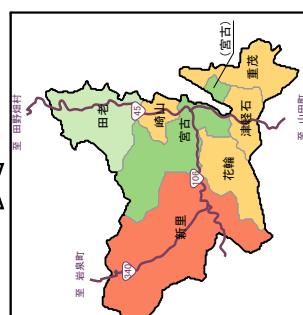
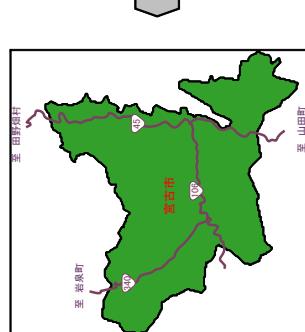
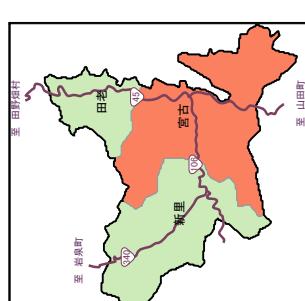
●年表【岩手県久慈市】

（出典）ネットタウン誌きて久慈市 知りたい久慈市（農たちの町の歩み）

岩手県宮古市

●宮古市の概要

大正13年宮古町と鞍ヶ崎町が合併し宮古町(下門伊郡)となる。昭和16年宮古町、山口町、千德村、磯鷲村(下門伊郡)が合併し宮古市となる。昭和30年茂市町と刈屋町が合併し新里町(下門伊郡)となる。昭和37年崎山村、花田町、新里町(下門伊郡)が宮古市に編入。昭和40年宮古市となる。



●沿革

江戸時代末期には、東北地方最大の一揆である三門伊一揆が勃発した。また、1847年、圧制に耐えかねた一揆団は、一万数千人という他に例を見ないほどの人数で盛岡城下に押しかけ、藩廳に要求を呑ませたのである。幕末から明治にかけての戊辰戦争では、北海道で独立を図る樺本武揚、土方歳三らの「日暮府軍艦隊」が、宮古湾に停泊する新政府軍艦隊に対し砲撃戦を行った。「宮古港海戦」が勃発した。

●人口・世帯数(動き)

旧市町村				旧宮古市			
年別	人口(人)			人口(人)			旧田老町
	総数	男	女	世帯数	男	女	世帯数 (戸)
昭和30年	53,623	26,289	27,334	9,995	8,118	4,025	4,093
昭和55年	55,385	26,896	28,489	11,360	8,321	4,097	4,224
昭和40年	56,575	27,278	29,297	13,303	8,237	4,037	4,200
昭和65年	59,063	28,466	30,597	15,166	7,503	3,794	3,757
昭和50年	61,912	29,980	31,932	16,1992	5,830	2,811	3,019
昭和55年	62,478	30,140	32,338	18,169	5,710	2,779	2,931
昭和60年	61,654	29,659	31,995	18,514	5,632	2,748	2,884
平成2年	58,503	27,826	30,677	18,716	5,298	2,564	2,734
平成7年	56,389	26,688	29,721	19,107	5,056	2,409	2,647
平成12年	54,638	25,890	28,748	19,347	4,798	2,312	2,486
平成17年	52,212	24,738	27,474	19,173	4,574	2,208	2,366
							1,499

出典)国勢調査

旧新里村				官古市			
年別	人口(人)			人口(人)			官古市
	総数	男	女	世帯数	男	女	世帯数 (戸)
昭和30年	8,015	4,119	3,866	1,447			
昭和35年	7,606	3,846	3,760	1,408			
昭和40年	6,345	3,130	3,215	1,318			
昭和45年	5,751	2,860	2,891	1,306			
昭和50年	5,124	2,512	2,612	1,287			
昭和55年	4,826	2,355	2,471	1,285			
昭和60年	4,619	2,256	2,393	1,263			
平成2年	4,290	2,031	2,259	1,234			
平成7年	4,035	1,939	2,096	1,229			
平成12年	3,782	1,817	1,965	1,208			
平成17年	3,464	1,654	1,810	1,183			

出典)国勢調査

●常住人口就業者・通学者数

官古市			
常住地による人口		從業地・通学地による人口	
当市町村	他県・他市	当市町村	他県・他市
総数	で従業・通学	総数	に常住 町村に常住
総数		30,665	27,866
15歳以上就業者	29,506	27,866	2,799
15歳以上通学者	26,965	1,640	2,215
	25,399	1,566	2,051
	2,541	2,467	584
		74	3,051
			2,467

官古市			
年別	人口(人)		
	総数	男	女
昭和30年	53,623	26,289	27,334
昭和55年	55,385	26,896	28,489
昭和40年	56,575	27,278	29,297
昭和65年	59,063	28,466	30,597
昭和50年	61,912	29,980	31,932
昭和55年	62,478	30,140	32,338
昭和60年	61,654	29,659	31,995
平成2年	58,503	27,826	30,677
平成7年	56,389	26,688	29,721
平成12年	54,638	25,890	28,748
平成17年	52,212	24,738	27,474

出典)国勢調査

●人口動態

宮古市	
自然動態	
年別 (平成)	
出生 (人)	死亡 (人)
12 521	605 ▲ 84
13 513	583 ▲ 70
14 516	675 ▲ 159
15 492	692 ▲ 200
16 467	667 ▲ 200
17 430	677 ▲ 247
18 455	703 ▲ 248

●常住人口就業者・通学者数(統計)

旧市町村【平成12年度】		旧宮古市	
		常住地による人口	従業地・通学地による人口
		総数	当市町村に常住 他県・他市 町村で從業・通 学
総数		27,972	25,722
15歳以上就業者		25,428	23,365
15歳以上通学者		2,544	2,357
			748

●常住人口就業者・通学者数(統計)

旧市町村【平成12年度】		旧田老町	
		常住地による人口	従業地・通学地による人口
		総数	当市町村に常住 他県・他市 町村で從業・通 学
総数		2,499	1,739
15歳以上就業者		2,307	1,633
15歳以上通学者		192	106
			185

●常住人口就業者・通学者数(統計)

旧市町村【平成12年度】		旧新里村	
		自然動態	自然動態
		出生 (人)	死亡 (人)
12	475	517 ▲ 42	28 ▲ 19
13	464	485 ▲ 21	33 ▲ 25
14	457	570 ▲ 113	37 ▲ 25
15	429	600 ▲ 171	41 ▲ 11
16	407	568 ▲ 161	35 ▲ 9
			25 ▲ 14
			50 ▲ 25

出典)岩手県統計年鑑

出典)国勢調査

■年表 宮古市

西暦(和暦)	主な出来事
1334年 (建武元年)	北畠頼家が多賀城にて新国府を開く。
1615年 (元和元年)	藩主利直は海岸を巡見。黒田村を割いて宮古村を立て、盛岡の外港として藩内物資の輸送にあてるため宮古湊を開く。
1641年 (寛永十八年)	閉伊沿岸の村々を結ぶ浜街道の改修が行われる。
1644年 (寛永二一年)	大火に見舞われ、本町で26軒焼失。
1645年 (正保二年)	大火に見舞われ、4月に96軒、11月に9軒焼失する。
1650年 (慶安三年)	500石積の藩船「宮古丸」「寅丸」の二隻が建造され宮古が母港となる。
1654年 (承応三年)	宮古～盛岡を結ぶ閉伊街道の開削も宮古開港と同時に行われる。
1670年 (明治三年)	大火に見舞われ、58軒焼失。
1699年 (寛文十九年)	頻繁に道普請が行われる。以後、寛文十九年(1699)・寛文十年(1700)にも行われる。
1700年 (元禄元年)	(閉伊街道が重視されていたことがわかる)
1700年 (元禄元年)	宮古～盛岡を結ぶ閉伊街道の新道開拓建議が出され、明治四年から五カ年計画で大改修が行われる。
1700年 (元禄元年)	大火に見舞われ、58軒焼失。
1700年 (元禄元年)	岩手県が成立、宮古に出張所が置かれ、七月には宮古郵便局が開設される。
1700年 (元禄元年)	1883年 3月1日、宮古測候所開設。
1700年 (元禄元年)	1888年 町村制施行により宮古町が成立。
1700年 (元禄元年)	1896年 6月15日、三陸大津波により全滅の惨禍をうける。
1700年 (元禄元年)	1913年 宮古～盛岡を結ぶ閉伊街道に初めて乗合自動車が運行。
1700年 (元禄元年)	1920年 国鉄山田線、着工。
1700年 (元禄元年)	1924年 鋼ケ橋脚が宮古町に合併。
1700年 (元禄元年)	1933年 3月3日、三陸大津波により全滅の惨禍をうける。
1700年 (元禄元年)	1934年 国鉄山田線、宮古～盛岡間が開通。
1700年 (昭和十四年)	1939年 国鉄山田線が釜石まで全線開通。(総延長 157.5km)

1941年 (昭和一六年)	宮古町、磯鶴村、山口村、千徳村の1町3村が合併して宮古市が成立。
1952年 (昭和27年)	茂市～遠野間に国鉄バスが運行を始める。(旧新里村)
1958年 (昭和33年)	高さ 10m、綫延長 1,350m の防潮堤が築かれる。(旧田老町)
1960年 (昭和三五年)	5月、チリ地震による津波が発生。
1962年 (昭和三七年)	宮古港に1万トン岸壁が完成。
1961年 (昭和三六年)	5月、未曾有の山火事により町域の2/3を超える 58.6ha を焼失。住宅 640 戸が全焼。(旧田老町)
1970年 (昭和四五年)	過疎指定を受ける。(旧新里村)
1971年 (昭和四六年)	1961年の三陸フェーン大火により全焼した田老鉱山が閉山。
1972年 (昭和四七年)	宮古～田老間に三陸縦貫鉄道宮古線が開通。
1978年 (昭和五三年)	国道 106 号線(盛岡～宮古間、延長約 99km) の改良工事が完成。
1984年 (昭和五九年)	三陸縦貫鉄道が一部を第三セクターが担うという委則経営で全線開通。
1992年 (平成四年)	竜神崎防波堤着工

* 出典：郷土歴史大辞典（岩手県の地名）

* 出典：宮古市 HP

* 出典：角川日本地名大辞典（岩手県）

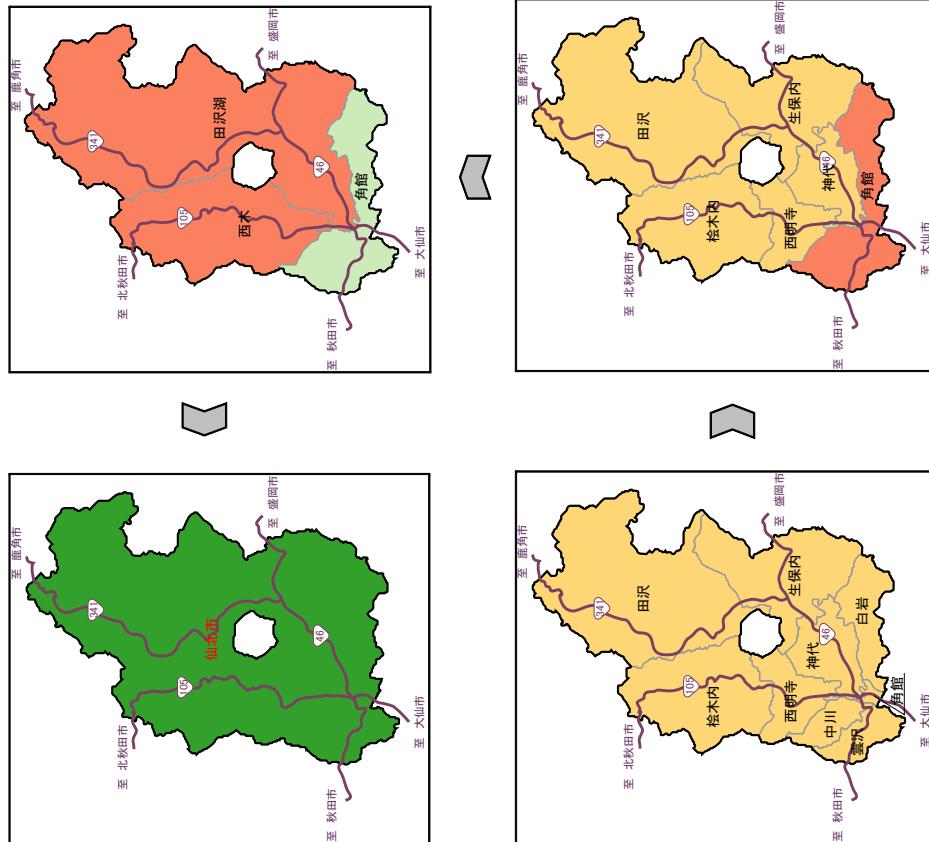
* 出典：ふるさとの文化遺産 郷土資料辞典（岩手県）

* 出典：日本地名大辞典（東北）

* 出典：岩手県百科事典

● 沿革
秋田県仙北市

- 秋田県仙北市の歴史**
- 昭和30年 角館町、中川村、雲沢村、白岩村が合併して「角館町」が誕生。
 - 昭和30年 生保内村(28年町制)、田沢村、神代村の3町村が合併して「田沢湖町」が誕生。
 - 昭和31年9月 西明寺村と絵木内村が合併して「西木村」が誕生。
 - 昭和31年9月、西明寺村と絵木内村が合併して「西木村」が誕生。
 - 平成17年9月20日 角館町、田沢湖町、西木村が合併して「仙北市」が誕生。



仙北、北浦地方では応永年間(1394～1428年)頃より戸沢氏が勢いを増し、戸沢盛安の代には豊臣秀吉から角館の地に4万4千石の大名として認められた。開ヶ原の戦い後の大名配置換えにより戸沢氏は常陸へ、秋田には佐竹義宣があり、魚館にはかつて会津の姓であった名族言名義勝(佐竹義宣の弟)が佐竹氏により1万5千石を与えられ治めることになった。芦名氏は新しい城下町建設に取組み、西家町と町人町に分けられた町並みは380年余りを経た現在もほとんど変わっていない。

●人口・世帯数

年別	仙北市			世帯数 (戸)
	総数	男	女	
昭和30年	45,787	23,297	22,490	8,132
昭和55年	43,765	21,513	22,222	8,641
昭和40年	41,284	20,019	21,265	9,213
昭和45年	39,216	18,822	20,394	9,498
昭和50年	38,830	18,677	20,153	9,942
昭和55年	39,098	18,938	20,210	10,612
昭和60年	38,348	18,432	19,916	10,559
平成2年	36,297	17,246	19,051	10,251
平成7年	34,945	16,535	18,410	10,277
平成12年	33,488	15,830	17,658	10,378
平成17年	31,868	14,872	16,996	10,274

出典:国勢調査

●人口·世帯数(総計)

『旧市町村』

		仙北市		
		從業地・通学地による人口		
	常住地による人口	当市町村	他県・他市町村で就業・通学	総数
		総数	当市町村で従業・通学	総数
15歳以上就業者	17,070	13,941	3,129	16,557
15歳以上通学者	15,928	13,277	2,651	15,481
15歳以上通学者	1,142	664	478	1,096
				13,941
				2,636
				2,204
				664
				432

◎常住人口就業者·通學者數(總計)

常住人口、就業者数・通字者数
『旧市町村』[平成12年度]

		田角町による人口			
		常住地による人口		従業地・通学地による人口	
	総数	当市町村 他県・他市 町村で就業・通 学	当市町村 他県・他市 町村で従業・通 学	当市町村 に常住	他県・他市 町村に常住
15歳以上就業者	8,047	5,733	2,314	9,502	5,733
15歳以上通学者	7,451	5,322	2,129	8,095	5,322
15歳以上通学者	596	411	185	1,407	411

◎常住人口就業者·酒業者數(據寺)

●常住人口就業者：通季者數
《日本町村》「平成10年版」

『日市町村入学者2年生』		旧田沢湖町			
		常住地による人口		従業地・通学地による人口	
		当市町村	他県・他市町村で従業・通学	当市町村	他県・他市町村に常住
		総数	総数	総数	総数
15歳以上就業者	6,841	7,418	5,521	1,897	6,903
15歳以上通学者	577	5,416	5,416	1,425	6,798
		105	577	472	105
					5,416
					1,382
					1,382
					0

常住人日記著者・通学着數(特吉)

●用立人吉・就業旨 道子著

		田西木村				
		常住地による人口		従業地・通学地による人口		
		当市町村	他県・他市町村で從業・通学	当市町村に常住	他県・他市町村に常住	
	総数	3,175	1,826	1,319	2,207	1,826
15歳以上就業者	2,916	1,791		1,125	2,169	1,791
15歳以上通学者	259	35		224	38	35

出典) 國勢調査

* 昭和30年 西明寺村と桧木内村が合併して西木村が誕生

年別	日角館町				旧田沢湖町			
	人口(人)	男	女	世帯数 (戸)	総数	男	女	世帯数 (戸)
昭和30年	18,218	8,795	9,423	3,393	-	-	-	-
昭和55年	17,862	8,491	9,371	3,697	17,074	8,734	8,340	3,324
昭和40年	17,288	8,156	9,132	3,993	15,986	7,953	8,033	3,509
昭和45年	16,817	7,929	8,888	4,155	14,924	7,262	7,662	3,616
昭和50年	16,869	8,024	8,845	4,405	14,827	7,201	7,626	3,823
昭和55年	16,906	8,029	8,877	4,521	15,206	7,453	7,753	4,371
昭和60年	16,614	7,845	8,799	4,517	14,891	7,279	7,612	4,355
平成2年	15,846	7,444	8,402	4,507	13,920	6,652	7,268	4,075
平成7年	15,224	7,173	8,051	4,555	13,447	6,407	7,040	4,076
平成12年	14,612	6,890	7,752	4,618	12,862	6,126	6,736	4,127
平成17年	13,884	6,464	7,420	4,572	12,343	5,791	6,552	4,093

年別	旧西木村				旧生保内町			
	人口(人)		世帯数 (戸)		人口(人)		世帯数 (戸)	
	総数	男	女	-	6,661	3,371	3,290	1,283
昭和30年	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和35年	8,829	4,318	4,511	1,630	*昭和31年 生保内村、田波村、神代村が合併して田波清瀬町となる			
昭和40年	8,030	3,910	4,120	1,711				
昭和45年	7,415	3,631	3,844	1,727				
昭和50年	7,134	3,452	3,682	1,714				
昭和55年	6,986	3,406	3,580	1,720				
昭和60年	6,813	3,308	3,505	1,687				
平成22年	6,531	3,150	3,381	1,669				
平成7年	6,274	2,955	3,319	1,646				
平成12年	5,984	2,814	3,170	1,633				
平成17年	5,641	2,617	3,024	1,609				

山東國考詞彙

年	年	西明寺村合併		西木村合併		誕生	
		総数	男	女	総数	男	女
昭和30年	*昭和31年	4,639	2,264	2,375	766	4,542	3,011
		(戸)			(戸)		

■年表 仙北郡（仙北市）

西暦（和暦）	主な出来事	
803 年 (延暦二年)	現岩手県盛岡市付近に志波城が築かれる。	
1602 年 (慶長七年)	国替により秋田藩主となつた佐竹義宣が新領地の各拠点に一族一門を配した。	
(1711 年～1736 年) 正徳一享保年間	阿仁・銅山は藩政中期以降全国有数の銅山となる。この年より約 1 万石の米が必要となる。	
1757 年 (宝暦七年)	阿仁・銅山において毎年約 1 万石の米を必要となつたことから仙北の米を運ぶこととなる。	
(1804 年～1818 年) 文化年間	林制改革により角館を設け、杉材の専売・監視を行つたが、杉の植立推進により採草地・雑木林が減少する。	
1868 年 (慶応四年)	8 月 7、8 日、秋田藩が幕府方の奥羽連合軍に雄勝郡で敗れる。(戊辰戦争)仙岩峠が開かれた。	
1876 年 (明治九年)	郡制で大曲村に郡役所が設置され、仙北郡の行政上の中心が角館から大曲に移る。	
1879 年 (明治十二年)	町村制施行で 3 町 35 村が成立。	
1889 年 (明治二十二年)	国鉄奥羽本線が開通。以後舟運が衰退する。	
1905 年 (明治三八年)	1923 年 (大正一二年)	国鉄生保内線が開通。
1925 年 (大正一四年)	県内 5 番目の中学校として県立角館中学校（現：角館高等学校）が開校。	
1928 年	4 年制の県立角館高等女学校（現：角館南高校）が創立。	
1937 年 (昭和三年)	大規模国営開墾事業として田沢疊水着工。	
1943 年 (昭和一八年)	角館～松葉まで羽後交通バスが開通。(西木村)	
1944 年 (昭和一九年)	国鉄「零石～橋場」間廃止。	
第二次世界大戦後	阿仁・田沢総合開発計画により多目的用水路の田沢疊水が完工。	
1963 年 (昭和三八年)	田沢疊水完成。	
1966 年 (昭和四一年)	国鉄田沢湖線「零石～田沢湖」間の開通により盛岡まで全通。	
1968 年 (昭和四三年)	たつこ像が除幕される。	

1970 年 (昭和四五年)	国鉄角館線（角館～松葉）開通。 田沢湖町立郷土史料館完成。 第二田沢疊水完成。
1975 年 (昭和五〇年)	国道 341 号（鹿角市～田沢湖町：73.9km）が国道路線に指定される。 角館町立美術館開館。
1976 年 (昭和四一年)	仙岩トンネル開通に伴う国鉄田沢湖線の全線開通。 国道 46 号仙岩トンネル、全長延 2,544m (仙岩道路) の完成によって冬季通行の安全が確保される。
1978 年 (昭和五三年)	角館構細工伝承館ならびにふるさとセンター開館。
1983 年 (昭和五八年)	5 月 26 日秋田県沖で M7.7 の日本海中部地震が発生、死者 104 人 (秋田県)
1989 年 (平成元年)	4 月 1 日秋田内陸縦貫鉄道全通 (鷹巣～角館間の 94.2 km)

* 出典：郷土歴史大辞典（秋田県の地名）

* 出典：角川日本地名大辞典（秋田県）

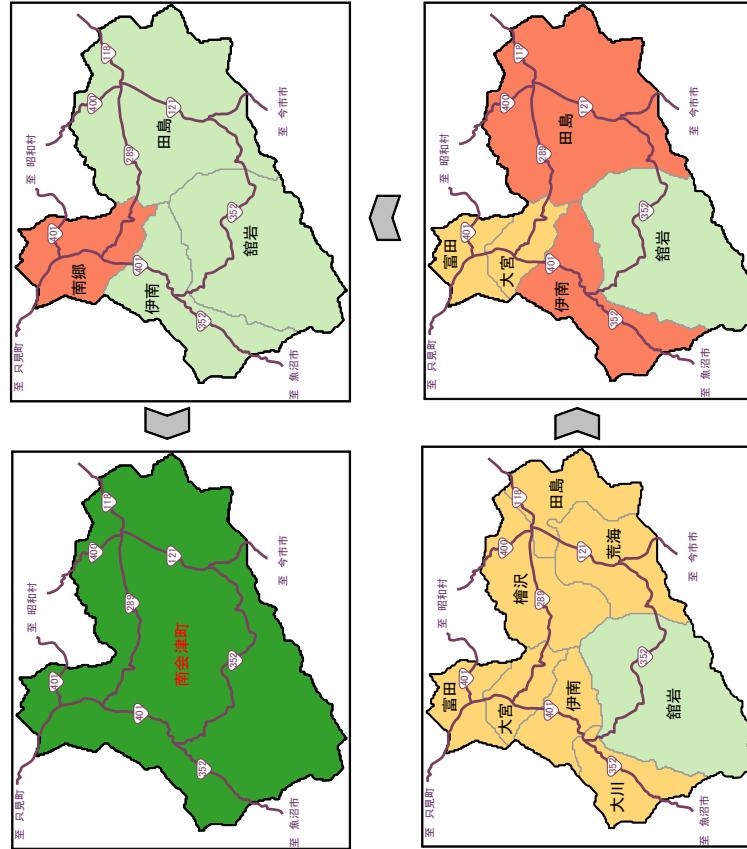
* 出典：ふるさとの文化遺産 地図資料辞典（秋田県）

* 出典：日本の地誌（東北）

* 出典：秋田大百科事典

●南会津町町の概要

昭和30年 田島町・檜沢(ひさわ)村・荒海村が合併し田島町
 昭和35年 伊南村・大川村が合併し伊南村となる
 昭和40年 富田村・伊南村が合併し南郷村が誕生
 平成18年3月20日 田島町、伊南村、南郷村が合併し南会津町が誕生。



●沿革

町の歴史は古く、石器、土器の出土により縄文時代以前から先人の居住が知られている。
 鎌倉時代に長沼氏の所領として田島地域に鷹山城が築かれ、江戸時代には、館岩・伊南・南郷地域とともに幕府直轄・天領領地に入ることなり、その後も会津西街道の主要宿場町として栄えた。

人口・世帯数					
南会津町					
年別	人口(人)			世帯数	
	総数	男	女	(戸)	(戸)
昭和30年	34,703	17,226	17,477	6,080	
昭和35年	34,152	16,803	17,349	6,706	
昭和40年	29,786	14,408	15,378	6,582	
昭和45年	26,813	12,956	13,857	6,490	
昭和50年	25,166	12,204	12,962	6,581	
昭和55年	24,119	11,695	12,424	6,723	
昭和60年	23,288	11,293	11,995	6,658	
平成2年	22,548	10,985	11,563	6,682	
平成7年	22,059	10,754	11,305	6,916	
平成12年	21,095	10,205	10,890	6,899	
平成17年	19,870	9,657	10,213	6,809	

●人口・世帯数(動き)

《旧市町村》					
旧田島町			旧館岩村		
年別	人口(人)			世帯数	
	総数	男	女	(戸)	(戸)
昭和30年	21,093	10,468	10,625	3,715	4,085
昭和35年	20,703	10,057	10,646	4,078	4,057
昭和40年	18,087	8,756	9,331	3,976	3,514
昭和45年	16,270	7,887	8,383	3,964	3,063
昭和50年	15,496	7,501	7,995	4,081	2,765
昭和55年	15,063	7,291	7,772	4,247	2,654
昭和60年	14,687	7,112	7,575	4,228	2,589
平成2年	14,425	7,065	7,360	4,275	2,553
平成7年	14,216	6,965	7,251	4,446	2,630
平成12年	13,747	6,707	7,040	4,508	2,380
平成17年	12,934	6,330	6,604	4,469	2,219

《旧伊南村》					
旧伊南村			旧南郷村		
年別	人口(人)			世帯数	
	総数	男	女	(戸)	(戸)
昭和30年	3,551	1,773	1,778	608	5,974
昭和35年	3,462	1,773	1,689	672	5,930
昭和40年	3,002	1,476	1,526	672	5,183
昭和45年	2,689	1,335	1,354	653	4,791
昭和50年	2,602	1,307	1,295	648	4,290
昭和55年	2,427	1,185	1,242	643	3,975
昭和60年	2,251	1,098	1,153	635	3,761
平成2年	2,150	1,021	1,129	623	3,420
平成7年	2,041	965	1,076	619	3,172
平成12年	1,887	874	1,013	628	3,081
平成17年	1,784	834	950	609	2,933

出典:国勢調査

●常住人口・就業者・通学者数
〔平成17年度〕

●年表【福島県南会津町】

出典) 国勢調査

出典) 南会津のあゆみ (H7)

●常住人口・就業者・通学者数

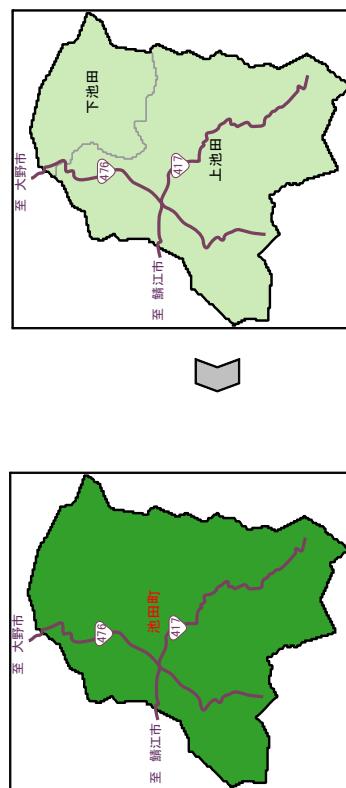
【平成17年度】		池田町		
	常住地による人口	従業地・通学地による人口		
	当市町村 他県・他市 で從業・通 学する人 口	当市町村 に常住する人 口	当市町村 に常住する人 口	
総数	1,831	1,135	696	1,419
15歳以上就業者	1,637	1,074	563	1,340
15歳以上通学者	194	61	133	79
				284
				266
				61
				18

●常住人口・就業者・通学者数(統計)

【平成12年度】		池田町		
	常住地による人口	従業地・通学地による人口		
	当市町村 他県・他市 で從業・通 学する人 口	当市町村 に常住する人 口	当市町村 に常住する人 口	
総数	2,152	1,458	694	1,725
15歳以上就業者	1,983	1,390	595	1,614
15歳以上通学者	167	68	99	111
				68
				43

出典) 国勢調査

●池田町の概要



●沿革

京に近く北陸道入口の越前、鎌倉への要地として時頃廻国での伝承を専かせるものがある。また、時宗二祖上人の池田布教や、鯖江諱照寺派の美濃加賀布教の拠点ともなったことから、人や物資の行き交う場として往古からのにぎわいを想わせるものがある。

国の中重要無形民俗文化財として継承されている「水海の田楽能舞」はじめ大正7年まで続いた福井須波阿須賀神社の翁神事を含め池田の里には5ヶ所で正月翁神事がおこなわれたことが「越前國古今名勝考」に記録されている。

残しておきたい自然100選に選定された冠山や、日本の滝100選に選ばれた龍双ヶ滝などの大自然にかこまれたのどかな田園地帯であるとともに、国指定重要無形文化財である水海の田楽能舞をはじめとする伝統文化・歴史を感じさせる町でもある。

●人口・世帯数

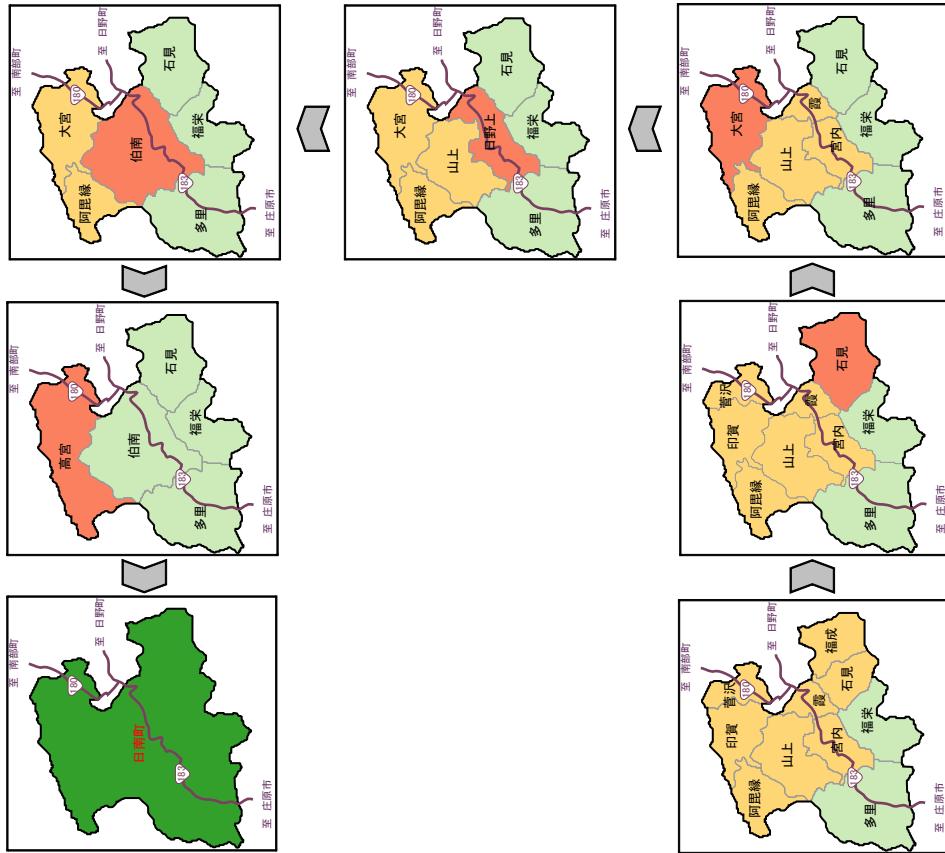
年別	人口(人)			世帯数 (戸)
	総数	男	女	
昭和30年	8,251	4,102	4,149	1,516
昭和35年	7,657	3,753	3,904	1,485
昭和40年	6,616	3,200	3,416	1,416
昭和45年	5,524	2,658	2,866	1,302
昭和50年	4,814	2,312	2,502	1,236
昭和55年	4,510	2,181	2,329	1,190
昭和60年	4,318	2,123	2,195	1,166
平成元年	4,203	2,051	2,152	1,130
平成元年	4,032	1,957	2,075	1,115
平成12年	3,759	1,825	1,934	1,095
平成17年	3,405	1,643	1,762	1,060

出典)国勢調査

出典) 池田町史 (S52)

● 目南町の概要

明治21年に公布された市制、町村制によつて10か村が誕生。日野村、山上村、大宮村、阿鬼縁村、多里村、福栄村、石見村の奥日野7か村となる。



●常住人口・就業者・通学者数(標準)

[平成12年度]		
日南町		
常住地による人口		
当市町村	他県・他市 町村で從業・通 学	従業地・通学地による人口
総数	655	3,545
15歳以上就業者	493	3,138
15歳以上通学者	162	58
総数	3,189	3,189
15歳以上就業者	213	51
15歳以上通学者	213	51

出典) 国勢調査

●人口動態

日南町		
社会動態		
年別	自然動態	人口増減 (人)
(平成)	出生 (人)	死亡 (人)
元	95	▲25
2	62	▲42
3	68	▲31
4	54	▲82
5	51	▲72
6	46	▲76
7	46	▲65
8	34	▲83
9	39	▲58
10	34	▲92
11	35	▲83
12	45	▲64
13	32	▲83
14	31	▲81
15	30	▲82
16	31	▲72
17	27	▲101
18	26	▲92

出典) 日南町行政のしおり

●沿革

明治21年に公布された市制、町村制によつて10か村が誕生し、大正時代の合併で7か村(日野村、山上村、大宮村、阿見縁村、多里村、福栄村、石見村の奥日野)となつた。さ
昭和30年には一部が合併、「伯南町」と「高宮村」が生まれ、5つの町村となつた後、4年の歳月を経た昭和34年に
新市町村建設促進法による総理大臣勅令に基づいて5町村の合併が実現し、現在の日南町が誕生。

●人口世帯数

日南町		
年別		
人口(人)		
昭和30年	16,023	7,907
昭和35年	15,286	7,446
昭和40年	13,130	6,386
昭和45年	11,051	5,308
昭和50年	9,730	4,674
昭和55年	8,889	4,292
昭和60年	8,470	4,080
平成2年	7,974	3,807
平成7年	7,382	3,463
平成12年	6,696	3,092
平成17年	6,112	2,815

出典) 国勢調査
出典) 国勢調査

●人口世帯数(標準)

日南町		
年別		
人口(人)		
昭和30年	16,023	7,907
昭和35年	15,286	7,446
昭和40年	13,130	6,386
昭和45年	11,051	5,308
昭和50年	9,730	4,674
昭和55年	8,889	4,292
昭和60年	8,470	4,080
平成2年	7,974	3,807
平成7年	7,382	3,463
平成12年	6,696	3,092
平成17年	6,112	2,815

出典) 国勢調査
出典) 国勢調査

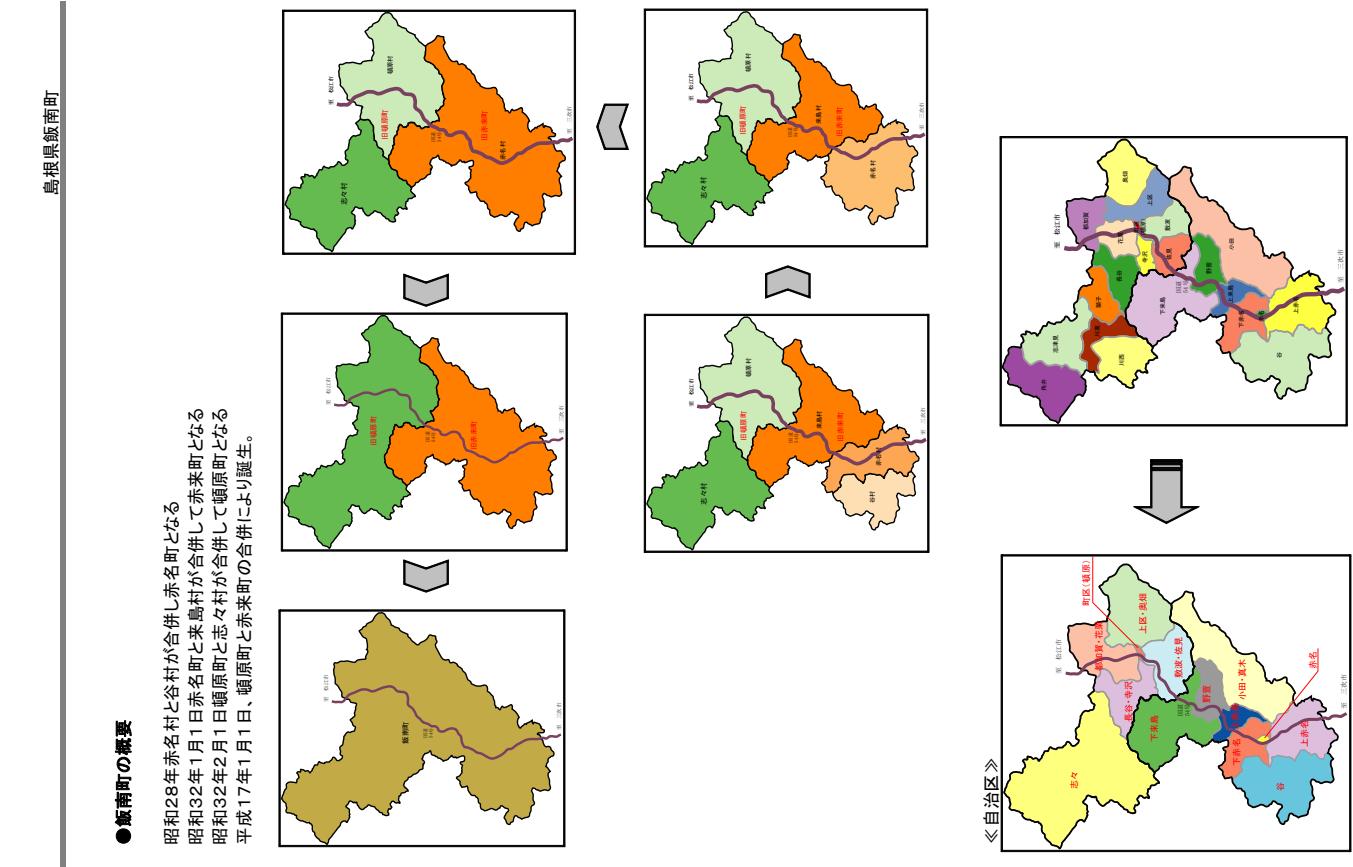
●常住人口・就業者・通学者数
〔平成17年度〕

日南町		
年別		
人口(人)		
昭和30年	3,472	1,704
昭和35年	3,472	1,704
昭和40年	3,472	1,704
昭和45年	3,472	1,704
昭和50年	3,472	1,704
昭和55年	3,472	1,704
昭和60年	3,472	1,704
平成2年	3,472	1,704
平成7年	3,472	1,704
平成12年	3,472	1,704
平成17年	3,472	1,704

出典) 日南町行政のしおり
出典) 日南町行政のしおり

■年表 日南町		主な出来事
西暦(和暦)		
1595年 (文禄四年)	鹿野城(現鹿野町)城主龜井滋矩が参見した銀山は翌年豊臣秀吉によって経営権が吉川広家に移される。(江戸期の銀山村の前身)	
1684年～1688年 (貞享年中)	日野川治いに日野往来(現国道183号)が通り、上流部の多里宿は出雲・備後・備中三国との交通の要衝に位置していたことから、折渡村とともに山奉行所が設置される。	
1858年 (安政五年)	二郎宿(現溝口町)の口日野郡役所に対して霞村に奥日野郡役所を設置。	
1865年 (慶応元年)	国境警備のための番所が多里宿、下石見村・大宮村・上阿鬼縁村に置かれる。	
1869年 (明治二年)	藩治組織改正に伴って黒坂陣屋(現日野町)に日野郡政所を設置。	
1871年 (明治四年)	大戸村の官倉新築を契機として年貢増徴などに対する農民の不満が爆発。多里郷各村の農民が決起し、周辺村々の農民と合流して総勢1,800人が矢戸村に集まり奥日野郡一揆が発生。(多里騒動ともいわれた)	
1900年 (明治三十三年頃)	多里地付近でクローム鉱が発見される。 日本でも代表的な大鉄床を形成していた。	
1921年 (大正一〇年)	クローム鉱鉱山が閉山。	
1962年 (昭和三七年)	日南町国民健康保険日南病院を開設、診療開始。	
1968年 (昭和四三年)	工費約30億円を投じた音沢ダムが完成。	
1996年 (平成八年)	6月、日南町総合文化センター、日南町美術館開館。	

* 出典：郷土歴史大辞典（鳥取県の地名）
 * 出典：日南町病院HP
 * 出典：角川日本地名大辞典（鳥取県）
 * 出典：ふるさとの文化遺産 郷土資料辞典（鳥取県）
 * 出典：鳥取県文化観光事典



●人口・世帯数(続き)
《旧市町村》

草沿

町の中心にある琴引山は、出雲風土記にその名をとどめ、悠久の歴史をうかがい知ることができる。また、瀬戸山城址をはじめとする多くの城址は、尼子毛利合戦をはじめ戦国の世の興亡の歴史を物語っている。

出雲・石見・備後・山陽の三国にまたがり、また陰陽を結ぶ中国山地の要衝として古くから開発され、出土墳・石碑・銅鏡・良質米の产地としても知られている。

●人口・世帯数

年別	人口(人)		世帯数 (戸)
	総数	男 女	
昭和30年	14,802	7,771	7,031
昭和35年	13,010	6,546	6,464
昭和40年	11,441	5,646	5,795
昭和45年	9,163	4,450	4,713
昭和50年	8,180	3,947	4,233
昭和55年	7,771	3,787	3,984
昭和60年	7,650	3,740	3,910
平成2年	7,331	3,542	3,789
平成7年	6,893	3,326	3,567
平成12年	6,541	3,173	3,368
平成17年	5,979	2,878	3,101

山東國考詞彙

●常住人口、就業者・通学者数
【平成17年度】

年別	日志々村			世帯数 (戸)	
	人口(人)		女		
	総数	男			
昭和30年	2,436	1,278	1,158	472	

*昭和32年町原町と志々村が合併して町原町となる

本語は「32-少右衛門」で表記が口許して本來のとなる

●常住人口・就業者・通学者数(統計)

		旧市町村		新市町村		新市町村	
		常住地にいる人口		従業地・通学地にいる人口		従業地・通学地にいる人口	
	総数	当市町村	他県・他市町村で従業・通学	総数	当市町村に常住	他県・他市町村に常住	
15歳以上就業者	1,976	1,668	308	1,979	1,668	311	
15歳以上通学者	1,830	1,513	307	1,743	1,513	230	
15歳以上就業者	156	155	1	236	155	81	

●常住人口、就業者・通学者数(続き) 『旧市町村』【平成12年度】

卷之三

		旧原町に常住する人口			
		當市町村に常住する人口		從業地・通学地に常住する人口	
性別	年齢	當市町村で從業・通 学する人	他県・他市 町村で從業・通 学する人	當市町村に常住 する人	他県・他市 町村に常住 する人
		総数	就業者	総数	就業者
男	15歳以上	1,794	1,401	393	1,728
女	15歳以上	1,617	1,379	268	1,706
男	15歳以上通学者	147	22	125	22
女	15歳以上通学者	0	0	0	0

◎人口動態

資料：島根の人口推移と推計人口

年表の出典) 須原町史 地誌・行政 (H9)、赤来町史 (S47)、続赤来町史 (H16)

●沿革

本地区は豊臣秀吉の九州征伐(薩摩侵攻)の舞台になり、和睦の儀が泰平寺にて行なわれた。各地に秀吉に関する様々な逸話が残されており、川内はんやまつりの武者行列では豊臣秀吉のか州征伐における泰平寺での島津義久と秀吉の和睦を史実に基づき再現している。

17～19世紀の時期は、川内川を利用した物流が最も発展した時期でした。河口の久見崎にはは藩内最大級の港があり、川内川を通じて運び込まれた物資の輸送が行われており、流域には三斎市や四日市などの市が立ち並び、にぎわいをみせていたようである。

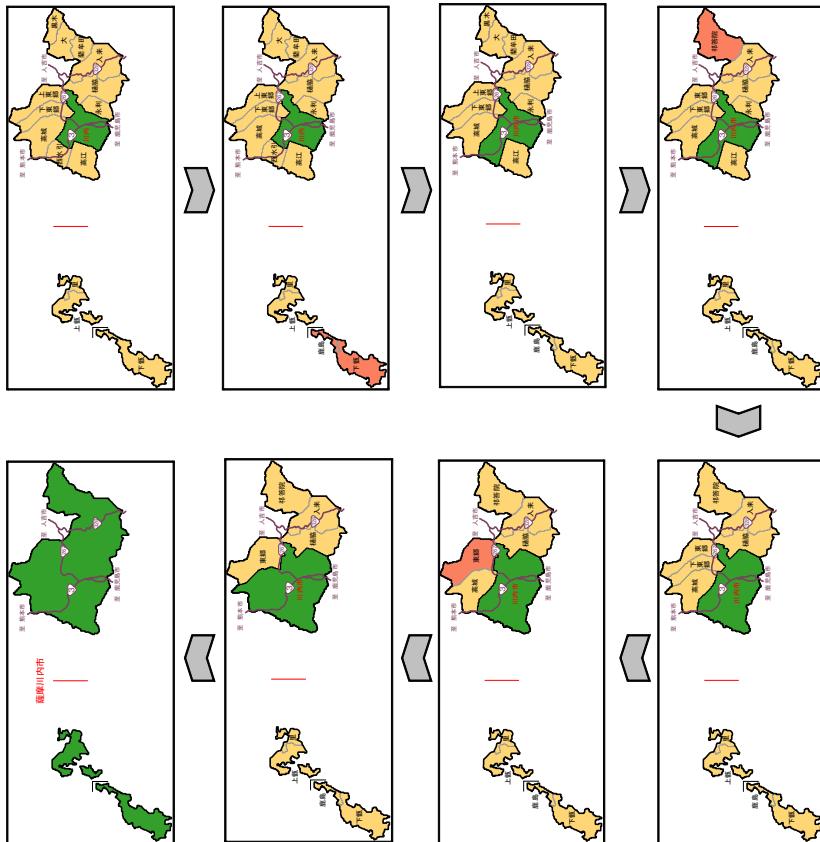
●人口・世帯数

年別	薩摩川内市		
	総数	人口(人)	世帯数 (戸)
昭和30年	146,197	70,465	75,732
昭和55年	133,799	63,434	70,365
昭和40年	119,063	55,527	63,536
昭和55年	104,295	47,829	56,466
昭和50年	99,151	45,535	53,616
昭和55年	102,143	47,769	54,374
昭和60年	108,105	51,112	56,993
平成2年	106,432	50,165	56,267
平成7年	106,737	50,482	56,255
平成12年	105,464	49,861	55,603
平成17年	102,370	48,195	54,175
			41,387

出典:国勢調査

●薩摩川内市の概要

- 昭和4年5月20日、隈之城村・平佐村・東水引村が合併して川内町となる。
- 昭和24年4月1日、下飯村から鹿島村が分立。
- 昭和26年4月1日、水引村が川内市に編入。
- 昭和30年4月1日、大村・黒木村・蘿牟田村が合併して祁答院町となる。
- 昭和31年3月30日、永木村・高江村が川内市に編入。
- 昭和32年4月1日、下裏郷村が分割し川内市・高城村・東郷町に編入。
- 昭和40年4月15日、高城町が川内市に編入。
- 平成16年10月12日、川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上飯村、下飯村、鹿島村が合併し、「薩摩川内市」となる。



●人口・世帯数(総計)

《旧市町村》

旧上郷村						
年別	人口(人)		世帯数		世帯数 (戸)	
	男	女	総数	男	女	
昭和30年	3,529	3,480	1,403	9,918	4,983	2,201
昭和35年	6,091	2,948	3,143	8,237	4,006	2,121
昭和40年	4,730	2,213	2,517	6,483	3,104	3,379
昭和45年	3,426	1,519	1,877	1,102	4,864	2,232
昭和50年	2,877	1,315	1,562	1,092	4,176	1,953
昭和55年	2,728	1,295	1,433	1,120	3,752	1,805
昭和60年	2,651	1,285	1,366	1,120	3,577	1,756
平成2年	2,315	1,084	1,231	1,017	3,247	1,581
平成7年	2,234	1,045	1,189	1,015	3,017	1,469
平成12年	2,008	930	1,078	974	2,803	1,430
平成17年	1,692	780	912	876	2,545	1,286
						1,232

出典:国勢調査

旧鹿島村						
年別	人口(人)		世帯数		世帯数 (戸)	
	男	女	総数	男	女	
昭和30年	3,010	1,431	1,579	585		
昭和35年	2,811	1,329	1,482	606		
昭和40年	2,254	1,071	1,183	554		
昭和45年	1,277	559	718	493		
昭和50年	1,023	453	570	431		
昭和55年	1,028	479	519	462		
昭和60年	1,072	494	578	497		
平成2年	1,033	478	555	487		
平成7年	999	466	533	473		
平成12年	892	424	468	447		
平成17年	564	252	312	308		

出典:国勢調査

旧川内市						
年別	人口(人)		世帯数		世帯数 (戸)	
	男	女	総数	男	女	
昭和30年	49,106	23,387	25,719	10,911	13,158	6,391
昭和35年	61,322	28,955	32,367	14,806	12,016	5,606
昭和40年	67,142	31,155	35,987	17,740	10,208	4,819
昭和45年	62,374	28,631	33,743	14,572	10,677	4,670
昭和50年	61,788	28,421	33,367	19,510	8,091	3,764
昭和55年	65,615	30,771	34,874	22,159	8,261	3,855
昭和60年	71,444	33,950	37,494	25,075	8,722	4,066
平成元年	71,735	33,991	37,744	25,683	8,485	3,932
平成6年	73,138	34,766	38,372	27,408	8,221	3,839
平成12年	73,236	34,746	38,190	28,632	7,951	3,711
平成17年	72,106	34,086	38,020	28,945	7,699	3,576

出典:国勢調査

出典:国勢調査

《旧市町村》

旧下郷村						
年別	人口(人)		世帯数		世帯数 (戸)	
	男	女	総数	男	女	
昭和30年	5,219	2,540	2,679	1,082	6,009	2,894
					3,115	1,319

*昭和31年川内市に編入。

旧高江村						
年別	人口(人)		世帯数		世帯数 (戸)	
	男	女	総数	男	女	
昭和30年	4,820	2,299	2,521	1,007	11,278	5,368
	-	-	-	10,485	4,882	5,603
				2,401		2,162

*昭和40年川内市に編入。

旧都答院町						
年別	人口(人)		世帯数		世帯数 (戸)	
	男	女	総数	男	女	
昭和30年	10,472	4,992	5,480	2,056	3,692	1,807
昭和35年	9,512	4,506	5,006	2,069	3,357	1,639
昭和40年	8,065	3,776	4,289	1,954	2,834	1,350
昭和45年	6,576	2,973	3,603	1,838	2,183	1,008
昭和50年	5,949	2,719	3,230	1,781	1,926	911
昭和55年	5,618	2,601	3,017	1,781	1,920	938
昭和60年	5,400	2,190	2,910	1,769	1,967	993
平成2年	5,101	2,354	2,747	1,818	1,753	863
平成7年	4,884	2,246	2,638	1,793	1,676	819
平成12年	4,625	2,101	2,624	1,772	1,517	745
平成17年	4,414	1,999	2,415	1,744	1,405	696

出典:国勢調査

出典:国勢調査

●常住人口就業者・通学者数(統計)
«旧市町村»[平成12年度]

		旧東郷町		日高村	
		常住地による人口	従業地・通学地による人口	常住地による人口	従業地・通学地による人口
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	1,473	1,766	1,878	1,473
15歳以上就業者	2,919	1,427	1,492	1,831	1,427
15歳以上通学者	320	46	274	47	46
				1	

●常住人口就業者・通学者数(統計)
«旧市町村»[平成12年度]

		日高磐院町		日里村	
		常住地による人口	従業地・通学地による人口	常住地による人口	従業地・通学地による人口
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	1,598	1,001	1,991	1,598
15歳以上就業者	2,393	1,563	830	1,956	1,563
15歳以上通学者	206	35	171	35	35
				0	

●常住人口就業者・通学者数(統計)
«旧市町村»[平成12年度]

		旧下郷村		日高島村	
		常住地による人口	従業地・通学地による人口	常住地による人口	従業地・通学地による人口
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	1,235	8	1,260	1,235
15歳以上就業者	1,228	1,220	8	1,245	1,220
15歳以上通学者	15	15	0	15	15
				0	

●常住人口就業者・通学者数(統計)
«旧市町村»[平成12年度]

		旧入来町		日高瀬町	
		常住地による人口	従業地・通学地による人口	常住地による人口	従業地・通学地による人口
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	286	11	296	286
15歳以上就業者	285	277	8	287	277
15歳以上通学者	12	9	3	9	9
				0	

●常住人口就業者・通学者数

		薩摩川内市		従業地・通学地による人口	
		常住地による人口	当市町村他県・他市町村に常住	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村に常住
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	52,239	46,136	6,103	53,837
15歳以上就業者		47,183	42,517	4,666	49,237
15歳以上通学者		5,056	3,619	1,437	4,600
				3,619	981

●常住人口就業者・通学者数(統計)

		日川内市		従業地・通学地による人口	
		常住地による人口	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村に常住
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	38,356	33,774	4,582	42,884
15歳以上就業者		33,971	30,490	3,481	38,140
15歳以上通学者		4,385	3,284	1,101	4,744
				3,284	1,460

●常住人口就業者・通学者数(統計)

		日橋脇町		従業地・通学地による人口	
		常住地による人口	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村に常住
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	4,119	2,492	1,627	3,731
15歳以上就業者		3,750	2,337	1,413	3,493
15歳以上通学者		369	155	214	238
				155	83

●常住人口就業者・通学者数(統計)

		日高瀬町		従業地・通学地による人口	
		常住地による人口	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村で從業・通学	当市町村他県・他市町村に常住
総数	当市町村他県・他市町村で從業・通学	3,477	2,121	1,356	3,982
15歳以上就業者		3,091	1,920	1,171	3,451
15歳以上通学者		386	201	185	531
				201	330

●人口動態

年別 (平成)	自然動態				社会動態		人口増減 (人)
	出生 (人)	死亡 (人)	増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	増減 (人)	
15	1,009	1,090	▲-81	5,030	5,474	▲-444	▲-525
16	1,027	1,173	▲-146	4,781	5,077	▲-296	▲-442
17	952	1,170	▲-218	4,035	4,775	▲-740	▲-958

出典)薩摩川内市統計書(H18)

年号		昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
年号		昭和																		平成									
人口	53,54,55	102,143人										108,452人								106,737人						105,464人			102,370人
世帯数	35,079戸											38,860戸								40,806戸						41,846戸			41,371戸
面積化率	13.4%											13.6%								13.7%						13.4%			22.2%
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号		昭和																		平成									
年号																													

8年版(鹿児島県鹿児島市内)

西暦	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04					
年号	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和			
年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84		
実勢化年	17.8%																																	
教育・文化	道路・交通																																	
年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84		
年号	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	
実勢化年	18.3%																																	
教育・文化	道路・交通																																	
年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84		

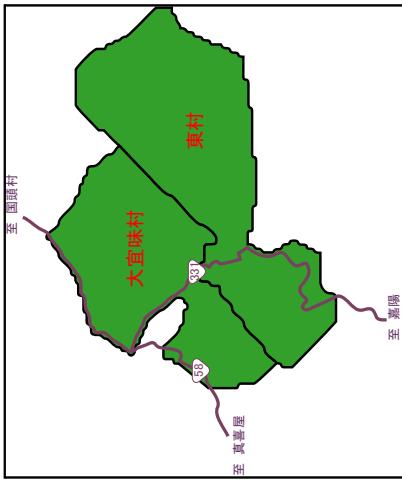
8年版(鹿児島県鹿児島市内)

西暦	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60				
年号	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正			
年号	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
実勢化年	8.9%																																			
教育・文化	道路・交通																																			
年号	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
年号	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	
実勢化年	10.4%																																			
教育・文化	道路・交通																																			
年号	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60			

年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04						
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			23.2%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			20.3%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87					
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			21.9%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			23.4%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88					
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			7.4%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			8.0%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90				
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			8.0%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			8.5%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91				
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			13.6%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			18.5%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92				
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			22.4%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			24.9%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93				
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			17.0%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			22.3%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94				
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			12.8%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			17.0%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95				
		年号	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81						
実績化率			9.4%																																		
施設区分	教育・文化																																				
年次計画			9.5%																																		
施設区分	道路・交通																																				
年次計画(鹿児島県鹿屋市内)		西暦	66	67	68	69	70	71</th																													

年次別【既設島移動原因別】		西脇	大庭	35	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78					
年次	年	新規	既存	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53													
新規化用	28	30	38	43	44	12	14	5	10	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
既存化用	29	30	38	43	44	12	14	5	10	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
新規化用	30	38	43	44	12	14	5	10	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	
既存化用	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53								
新規化用	32	33	34	35	36	37	38	39	40	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53									
既存化用	33	34	35	36	37	38	39	40	41	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53										
新規化用	34	35	36	37	38	39	40	41	42	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53											
既存化用	35	36	37	38	39	40	41	42	43	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53												
新規化用	36	37	38	39	40	41	42	43	44	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53													
既存化用	37	38	39	40	41	42	43	44	45	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53														
新規化用	38	39	40	41	42	43	44	45	46	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53															
既存化用	39	40	41	42	43	44	45	46	47	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																
新規化用	40	41	42	43	44	45	46	47	48	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																	
既存化用	41	42	43	44	45	46	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																		
新規化用	42	43	44	45	46	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																			
既存化用	43	44	45	46	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																				
新規化用	44	45	46	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																					
既存化用	45	46	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																						
新規化用	46	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																							
既存化用	47	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																								
新規化用	48	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																									
既存化用	49	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																										
新規化用	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																											
既存化用	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																												
新規化用	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																													
既存化用	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																														
新規化用	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53																															
既存化用	45	46	47	48	49	50	51	52	53																																
新規化用	46	47	48	49	50	51	52	53																																	
既存化用	47	48	49	50	51	52	53																																		
新規化用	48	49	50	51	52	53																																			
既存化用	49	50	51	52	53																																				
新規化用	50	51	52	53																																					
既存化用	51	52	53																																						
新規化用	52	53																																							
既存化用	53																																								

●沖縄県 大宜味村・東村の概要



十一

[太官味村]

田平村の歴史は1673年（延宝元年）、羽間町から平南・津波の2村と国頭間切から11村を分かち、3村をもつて田平港間切を創設したことになります。1695年（元禄5年）、屋古・前田の2村を併せて屋古前田とし、国頭間切から川平良の2村を分かち、また親田・見里・名代・大宣味の4村を新設して8村をもつて大宣味間切と改称した。さらには1719年（享保4年）には川田・平良の2村は久志間切に合併し現在の大宣味村の形ができあがった。

【東村】東地域の基本単位となる字(古くは村)は、幾多の合併分離をくりかえし、現在では17字となっている。

東村は琉球王室侍代。当初は東村或は名護間切に屬していたが、1673年に新設された久志間切に属された。『球陽』によると川田村と国頭町切安波當良村とも改められ、村の生活は困窮化し、水兵（地理の師）の指導のもとに集落は移動し、村名も富久良村と改められた。その後、川田村と改められ、宮城村と改められたという離奇な記録がある。このように、東村は北から南まで68kmに及び、湾入の多い海岸線に点在する村落で行政運営上は難題を抱えていた。

年には、宮城の北東部を分離し高江とし現在の6字となつた。

●常住人口・就業者・通学者数(統計)

●位置・地勢

【平成17年度】 東村		
常住地による人口		従業地・通学地による人口
総数	当市町村 他県・他市で就業・通学	当市町村で從業・通学
総数	1,004	773
15歳以上就業者	946	758
15歳以上通学者	58	15

●常住人口・就業者・通学者数(統計)
【平成12年度】

【平成12年度】 東村		
常住地による人口		従業地・通学地による人口
総数	当市町村 他県・他市で就業・通学	当市町村で從業・通学
総数	1,065	852
15歳以上就業者	937	764
15歳以上通学者	128	88

出典) 国勢調査

●人口動態		
年別 (平成) (人)	東村	
	自然動態 (人)	社会動態 (人)
出生	死亡 (人)	増減 (人)
54	25	16
55	24	12
56	25	17
57	29	11
58	25	13
59	30	13
60	27	12
61	38	10
62	29	12
63	21	14
元 24	9	15
2	19	0
3	26	13
4	15	14
5	19	17
6	21	15
7	19	18
8	17	15
9	17	17
10	13	14
11	17	17
12	18	16
13	15	17
14	18	13

出典) 国勢調査

●人口・世帯数

年別 (平成) (戸)	東村		
	天宜味村		東村
	人口(人)	世帯数 (戸)	人口(人)
昭和35年	-	-	-
昭和40年	-	-	-
昭和45年	-	-	-
昭和50年	4,178	1,908	2,270
昭和55年	3,626	1,695	1,931
昭和60年	3,567	1,736	1,831
平成2年	3,513	1,685	1,828
平成7年	3,437	1,675	1,762
平成12年	3,281	1,603	1,678
平成17年	3,371	1,716	1,655

* S35～S45沖縄返還前の統計書を基に算出した。

●常住人口・就業者・通学者数
【平成11年度】

年別 (平成) (人)	天宜味村		
	常住地による人口		従業地・通学地による人口
	当市町村 で從業・通 学	他県・他市 で從業・通 学	総数
総数	1,625	1,241	384
15歳以上就業者	1,417	1,106	311
15歳以上通学者	208	135	302

●常住人口・就業者・通学者数(統計)
【平成12年度】

年別 (平成) (人)	大宜味村		
	常住地による人口		従業地・通学地による人口
	当市町村 で從業・通 学	他県・他市 で從業・通 学	総数
総数	1,433	1,095	338
15歳以上就業者	1,228	942	286
15歳以上通学者	205	153	385

出典) 東村統計書 (HP)

●年表【沖縄県大宜味村・東村】

	24	28	31	31	33	36	37	45	46	51	54	55	60	61	63	69	70	73	74	75	76	77	79	80	81	82	83	84	85	86	87	90	91	93	94	95	97	98	99	01	02	03	04	06
年号	大正																																											
人口	13	3	6	6	8	11	12	20	21	26	29	30	35	36	38	44	45	48	49	50	51	52	54	55	56	57	58	59	60	61	62	2	3	5	6	7	9	10	11	13	14	15	16	18
世帯数																																												
高齢化率																																												
教育・文化																																												
大宜味村																																												
道路・交通																																												
東村																																												
教育・文化																																												
道路・交通																																												
人口																																												
世帯数																																												
高齢化率																																												
教育・文化																																												
道路・交通																																												
東村																																												
教育・文化																																												
道路・交通																																												

出典) 大宜味村史 通史編 (S54)、大宜味村 HP、東村史 第一巻 通史編 (S62)、東村 HP